

日本能率協会は、2015年4月1日より、ドイツ・ハノーバーに世界最大の国際展示会会場を保有するドイツメッセ株式会社の日本におけるセールスパートナーとして、同社が主催する国際展示会への日本企業の出展・来場誘致を行っています。

開催結果



Deutsche Messe

2015年11月

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会
ドイツメッセ日本代表部

国際木工林業機械見本市 「LIGNA 2015 (リグナ)」開催結果

LIGNA

世界最大の国際木工林業機械専門展示会「LIGNA 2015 (リグナ)」は、2年に1度開催される木工林業機械、設備、工具を扱う専門展示会で、40カ国・地域から1,500社が出展。ヨーロッパを中心に世界中から9万人以上が来場します。(主催：ドイツメッセ株式会社、ドイツ機械工業連盟(VDMA))

2015年5月に開催された「LIGNA 2015」の開催結果は以下のとおりです。

■会 期：2015年5月11日(月)～15日(金)5日間

■会 場：ドイツ・ハノーバー国際見本市会場

■展示面積：121,195㎡

■来場者：93,099人

ードイツ国内 約60%、ドイツ国外 約40%

ードイツ国外からの来場エリア内訳

(欧州71%、北中南米12%、アジア8%、

オセアニア4%、中東3%、アフリカ2%)

ー95%が木工林業分野のプロフェッショナル

(主な業種：家具産業、原木材加工、木工芸、製材、山林業・林業技術)

■出展者：1,552社(40カ国・地域)

ー商談件数：280万件/会期5日間

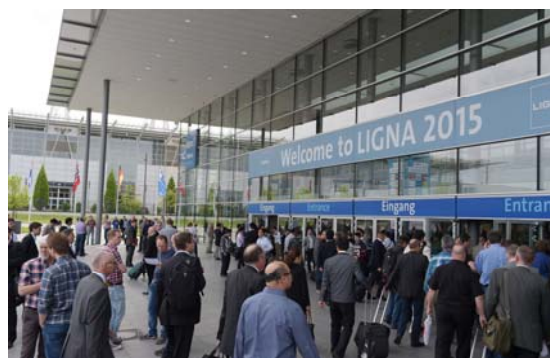
ードイツ国内 約44%、ドイツ国外約56%

ードイツ国外からの出展国・地域(多い順：イタリア、オーストリア、中華人民共和国、スウェーデン、アメリカ合衆国、他)

ー日本からの出展：9社(海外現地法人含)

兼房、キクカワエンタープライズ、太平製作所、名古屋大学農学部、日本木工機械工業会、橋本電機工業、丸仲鉄工所、名南製作所、山本ビニター

■テーマ：Smart Manufacturing



■特徴・みどころ：

一効率性と付加価値を高めた製品が増加。

木工・林業のバリューチェーン全体をカバー

一次加工機からソフトウェア、物流まで、展示は木工・林業のあらゆる分野におよびました。特に、屋外展示場での林業向け大型機械の展示が目立ち、海外からの出展も増えました。製材技術分野では、効率性と付加価値を高めた出展製品が増加しました。

また、エネルギー分野では、木をエネルギー源として活用する手法が多数紹介されました。合板分野では、CNC（コンピュータ数値制御）技術が多くに関心を引きました。



一Industry 4.0 木工部門にも反映

LIGNA 2015の開催テーマ「Smart Manufacturing」にあるとおり、Industry 4.0が反映された製造工程が注目を集めました。会場内では、ネットワーク化された工場でのカスタム家具の製造工程のデモンストレーションが行われ、来場者は具体的にIndustry 4.0の可能性を肌で感じることができました。これらの技術を応用し、今後、家具や住宅設備など木工分野でのカスタム製品の大量生産がトレンドになると見込まれています。



一プラスチック、軽金属など木材以外の

加工技術も注目

企画展示「Surprisingly Versatile（驚くべき多様性）」では、プラスチック、軽金属など木材以外の素材へのドライマシニング技術の応用が多数紹介されました。これらの技術は、建築、建材製造、自動車産業にも応用が期待され、今後同分野からの来場者が増えることが見込まれます。



一「木材産業サミット」開催。業界発展への弾みに

恒例の「木材産業サミット（Wood Industry Summit）」はLIGNA 2015でも業界から高く評価されました。会期中は毎日、話題性の高いトピックを取りあげる他、今後有望と考えられる市場への参入がテーマとなり、多数の講演が行われました。産業界のみならず、研究者、政治家など幅広い層が参加しました。



次回は、2017年5月22日（月）～26日（金）に、ドイツ・ハノーバー国際見本市会場で開催されます。

以上

【本件に関するお問い合わせ】一般社団法人日本能率協会 ドイツメッセ日本代表部（竹生、高間）

〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22 TEL: 03-3434-6447 FAX: 03-3434-8076 E-Mail: DMS@jma.or.jp

※取材のお問い合わせは、広報室（TEL:03-3434-8620、担当:斎藤）へお願いいたします